

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	バンパール小牧カーサシティ	階数	地上13F
建設地	愛知県小牧市中央三丁目92番	構造	RC造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	544 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2018年11月 予定	評価の実施日	2017年3月21日
敷地面積	5,803 m <sup>2</sup>	作成者	笠井
建築面積	1,719 m <sup>2</sup>	確認日	2017年3月21日
延床面積	12,474 m <sup>2</sup>	確認者	笠井



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

標準計算: 30%☆☆☆☆ 60%☆☆☆☆ 80%☆☆☆☆ 100%☆☆ 100%超:☆☆

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 3.0

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

音環境: 3.1, 温熱環境: 2.9, 光・視環境: 2.9, 空気質環境: 3.9

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.7

機能性: 4.4, 耐用性: 3.1, 対応性: 3.2

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.2

生物環境: 1.0, まちなみ: 3.0, 地域性: 2.5

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.1

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

建物外皮の: 3.0, 自然エネ: 2.0, 設備システ: 5.0, 効率的: 3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

水資源: 3.4, 非再生材料の: 2.4, 汚染物質: 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

地球温暖化: 4.3, 地域環境: 2.5, 周辺環境: 2.3

### 3 重点項目

①地球温暖化への配慮	③敷地内の緑化	外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積) <b>7.7 %</b> 建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積) <b>0.0 %</b>
<b>4.3</b>	<b>1.0</b>	
②資源の有効活用	④地域材の活用	<外装材に使用した地域性のある材料> なし <建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材> なし
<b>2.7</b>	<b>1.0</b>	

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮  
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用  
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性  
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化  
Q-3 1 生物環境の保全と創出

④地域材の活用  
Q-3 2 まちなみ・景観の配慮 4) 地域性のある素材による良好な景観形成

外構緑化指数 =  $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属面積)を除いた敷地面積}} \times 100$

建物緑化指数 =  $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

みんなの環境活動を応援しています

スコアシート		基本設計段階							
配慮項目	独自基準 重点項目	環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
		評価点	重み係数	評価点	重み係数				
<b>Q 建築物の環境品質</b>									
<b>Q1 室内環境</b>									
<b>1 音環境</b>									
1.1 騒音		3.0	0.15	3.1	1.00	3.1		3.0	
1.2 遮音		3.0	0.50	3.0	0.50	3.0	0.50	3.2	
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30	3.0	0.30		
2 界壁遮音性能	コンクリート壁厚180確保	3.0	-	4.0	0.30	4.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20	3.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20	3.0	0.20		
1.3 吸音		3.0	-	3.0	-	3.0	-		
<b>2 温熱環境</b>									
2.1 室温制御		3.0	0.35	3.0	1.00	3.0	1.00	2.9	
1 室温		3.0	0.50	3.0	0.50	3.0	0.50		
2 外皮性能		3.0	0.63	3.0	0.63	3.0	0.63		
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38	3.0	0.38	3.0	0.38		
2.2 湿度制御		1.0	0.20	3.0	0.20	3.0	0.20		
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30	3.0	0.30		
<b>3 光・視環境</b>									
3.1 昼光利用		2.4	0.25	3.0	1.00	3.0	1.00	2.9	
1 昼光率		3.0	0.30	3.0	0.30	3.0	0.30		
2 方位別開口		3.0	0.60	3.0	0.50	3.0	0.50		
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20	3.0	0.20		
3.2 グレア対策		1.0	0.30	3.0	0.30	3.0	0.30		
1 昼光制御		1.0	1.00	3.0	1.00	3.0	1.00		
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15	3.0	0.15		
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25	3.0	0.25		
<b>4 空気質環境</b>									
4.1 発生源対策		3.0	0.25	4.0	1.00	4.0	1.00	3.9	
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆を全面的に使用	3.0	0.60	5.0	0.63	5.0	0.63		
4.2 換気		3.0	1.00	5.0	1.00	5.0	1.00		
1 換気量		3.0	0.40	2.3	0.38	2.3	0.38		
2 自然換気性能		3.0	0.50	3.0	0.33	3.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33	3.0	0.33		
4.3 運用管理									
1 CO <sub>2</sub> の監視									
2 喫煙の制御									
<b>Q2 サービス性能</b>									
<b>1 機能性</b>									
1.1 機能性・使いやすさ		3.3	0.40	4.6	1.00	4.6	1.00	4.4	
1 広さ・収納性		3.0	0.40	5.0	0.60	5.0	0.60		
2 高度情報通信設備対応	Gbitクラスのブロードバンドが利用可能なLANケーブルを設置	3.0	-	5.0	1.00	5.0	1.00		
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	3.0	0.30	3.0	0.30		
1.2 心理性・快適性		4.0	0.30	4.0	0.40	4.0	0.40		
1 広さ感・景観	居室天井高2.5m	3.0	-	4.0	0.50	4.0	0.50		
2 リフレッシュスペース		3.0	-	3.0	-	3.0	-		
3 内装計画	パースによる内装計画の検証	4.0	1.00	4.0	0.50	4.0	0.50		
1.3 維持管理		3.0	0.30	3.0	0.30	3.0	0.30		
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	3.0	0.50	3.0	0.50		
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	3.0	0.50	3.0	0.50		
<b>2 耐用性・信頼性</b>									
2.1 耐震・免震		3.1	0.31	3.1	0.31	3.1	0.31	3.1	
1 耐震性		3.0	0.48	3.0	0.48	3.0	0.48		
2 免震・制振性能		3.0	0.80	3.0	0.80	3.0	0.80		
2.2 部品・部材の耐用年数		3.4	0.33	3.4	0.33	3.4	0.33		
1 躯体材料の耐用年数	劣化対策等級3を確保	5.0	0.23	5.0	0.23	5.0	0.23		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23	3.0	0.23	3.0	0.23		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09	3.0	0.09	3.0	0.09		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	3.0	0.08	3.0	0.08		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15	3.0	0.15	3.0	0.15		
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	3.0	0.23	3.0	0.23		
2.4 信頼性		3.2	0.19	3.2	0.19	3.2	0.19		
1 空調・換気設備	節水型器具の採用	3.0	0.20	3.0	0.20	3.0	0.20		
2 給排水・衛生設備		4.0	0.20	4.0	0.20	4.0	0.20		
3 電気設備		3.0	0.20	3.0	0.20	3.0	0.20		
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	3.0	0.20	3.0	0.20		
5 通信・情報設備		3.0	0.20	3.0	0.20	3.0	0.20		
<b>3 対応性・更新性</b>									
3.1 空間のゆとり		3.0	0.29	3.3	1.00	3.3	1.00	3.2	
1 階高のゆとり	階高2.91m以上を確保	3.0	-	3.6	0.50	3.6	0.50		
2 空間の形状・自由さ		3.0	-	4.0	0.60	4.0	0.60		
3.2 荷重のゆとり		3.0	-	3.0	0.40	3.0	0.40		
3.3 設備の更新性		3.0	1.00	3.0	0.50	3.0	0.50		
1 空調配管の更新性		3.0	0.17	3.0	0.17	3.0	0.17		
2 給排水管の更新性		3.0	0.17	3.0	0.17	3.0	0.17		
3 電気配線の更新性		3.0	0.11	3.0	0.11	3.0	0.11		
4 通信配線の更新性		3.0	0.11	3.0	0.11	3.0	0.11		
5 設備機器の更新性		3.0	0.22	3.0	0.22	3.0	0.22		
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.22	3.0	0.22	3.0	0.22		

スコアシート		基本設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	独自基準 重点項目	評価点	重み 係数	評価点	重み 係数					
	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>									
1 生物環境の保全と創出	独自③	1.0	0.30							1.0
2 まちなみ・景観への配慮	独自④	3.0	0.40							3.0
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>										
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	独自④	2.5	0.30							2.5
3.2 敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50							
		3.0	0.50							
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>										
<b>LR1 エネルギー</b>										
BPIm--										
1 建物外皮の熱負荷抑制		3.0	0.40							3.0
2 自然エネルギー利用		2.0	0.20							2.0
3 設備システムの高効率化		5.0	0.40							5.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)		2.0	-							
集合住宅の評価(3c)		5.0	1.00							
高効率設備の採用										
4 効率的運用		3.0	-							3.0
集合住宅以外の評価		2.0	-							
4.1 モニタリング		3.0	-							
4.2 運用管理体制		3.0	-							
集合住宅の評価		3.0	1.00							
4.1 モニタリング		3.0	0.50							
4.2 運用管理体制		3.0	0.50							
<b>LR2 資源・マテリアル</b>										
<b>1 水資源保護</b>										
1.1 節水		3.4	0.15							3.4
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		4.0	0.40							
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.60							
2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	1.00							
節水型器具の採用										
2 非再生性資源の使用量削減		2.4	0.63							2.4
2.1 材料使用量の削減		2.0	0.07							
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24							
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20							
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		1.0	0.20							
2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05							
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.24							
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>										
3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32							3.0
3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.68							
1 消火剤		-	-							
2 発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50							
3 冷媒		3.0	0.50							
<b>LR3 敷地外環境</b>										
1 地球温暖化への配慮	①	4.3	0.33							4.3
ライフサイクルCO2概算値:66%										
<b>2 地域環境への配慮</b>										
2.1 大気汚染防止		2.5	0.33							2.5
2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.25							
2.3 地域インフラへの負荷抑制		2.0	0.50							
1 雨水排水負荷低減	独自	3.0	0.25							
2 汚水処理負荷抑制	独自	3.0	0.25							
3 交通負荷抑制		4.0	0.25							
4 廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25							
駐輪場を住戸数比200%確保										
<b>3 周辺環境への配慮</b>										
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		2.3	0.33							2.3
1 騒音	独自	3.0	0.40							
2 振動	独自	3.0	0.33							
3 悪臭		3.0	0.33							
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		1.6	0.40							
1 風害の抑制		1.0	0.70							
2 砂塵の抑制		3.0	0.30							
3 日照障害の抑制		2.3	0.20							
3.3 光害の抑制		2.0	0.70							
1 屋外照明及び屋内照明のガラス面に覆れる光への対策		3.0	0.30							
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30							

**重点項目スコアシート**  
バンペール小牧カーサシティ

基本設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2014年版+あいち版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD\_NC\_2014(v.2.0)\_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
<b>① 地球温暖化対策</b>				<b>4.3</b>
LR3-1	地球温暖化への配慮	4.3	0.10	
<b>② 資源の有効活用</b>				<b>2.7</b>
Q2-2	耐震性・信頼性	3.1	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.0	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.4	0.19	
<b>③ 敷地内の緑化</b>				<b>1.0</b>
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.09	外構緑化:7.74%/建物緑化:0%
<b>④ 地域材の活用</b>			(評価ポイント)	<b>1.0</b>
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 バンベール小牧カーサシテ

計画上の配慮事項	
総合	省エネ、維持管理や防犯等に配慮し良質な住空間の形成を目指した
Q1 室内環境	快適な住空間となるよう配慮
Q2 サービス性能	高効率設備機器の採用
Q3 室外環境(敷地内)	周辺環境に配慮し、エントランス廻りを優先的に緑化
LR1 エネルギー	省エネを考慮した設備機器を設置し、一次エネルギー消費量を抑えるよう配慮
LR2 資源・マテリアル	住戸便器に省水型機器を採用
LR3 敷地外環境	駐輪場を住戸数比200%確保
その他	